ファビオ・ビオンディとエウロパ・ガランテ

Fabio Biondi & Europa Galante　華麗なるイタリア古楽の世界

コレッリ：合奏協奏曲 ニ長調 Op.6-4

ジェミニアーニ：合奏協奏曲 ト短調 Op.3-2

ロカテッリ：合奏協奏曲 ニ長調 Op.1-5

ヴィヴァルディ：『四季』全曲

「春」RV269 「夏」RV315

「秋」RV293 「冬」RV297

2020

2.23 [sun]

15:00開演（14:30開場）

青山音楽記念館
バロックザール

入場料：5,000円（全席指定・税込）

WEB先行発売　**2019年11月14日（木）よりバロックザール・オンラインチケットにて販売**

オンライン購入には会員登録が必要です。お支払いはクレジットカード決済、コンビニ支払い、ホール窓口支払いをお選びいただけます。セブンイレブンでチケットをお受け取りいただけます（手数料無料）。

【チケット一般発売／お問い合わせ】

2019年11月22日（金）10:00より販売　青山音楽記念館 バロックザール　☎075-393-0011 受付 9:30～18:00（月・火 休館）

※演奏予定曲目は予告なく変更となる場合がございます。※未就学児のご入場はご遠慮ください。※一度のお申込みにつき購入いただけるチケット枚数は4枚までとさせていただきます。
※お買い求めいただいたチケットのキャンセル・変更等はいたしかねます。予めご了承ください。※会場での録音・録画・写真撮影は固くお断りします。

主催　公益財団法人青山音楽財団

AOYAMA
MUSIC FOUNDATION
KYOTO, SINCE 1987

イタリア古楽の巨匠であり鬼才 ファビオ・ビオンディ率いるエウローパ・ガランテ
世界を虜にしたセンセーショナルな「四季」は、今なお進化し続けています。
音楽の喜びに満ち溢れる、華麗なるイタリア古楽の世界をお楽しみください。

ファビオ・ビオンディ［指揮、ヴァイオリン］
Fabio Biondi

現在、バロック・ヴァイオリン奏者及び指揮者として、世界中で活躍している第1人者である。イタリア、パレルモ出身。12歳でソリストとしてイタリア国立放送交響楽団(RAI)と共演し、国際的キャリアをスタート。1990年イタリア・バロック音楽アンサンブル「エウローパ・ガランテ」を結成し活動を始める。その演奏は「新鮮で活気に満ちた公演」と評され、たちまちのうちに著名な音楽祭に加え、ミラノ・スカラ座、アムステルダム・コンセルトヘボウ、ロイヤル・アルバート・ホール、ウィーン・ムジークフェライン、ニューヨーク・リンカーンセンター、シドニー・オペラハウス、東京・サントリーホールなどに招待される。ソリスト、指揮者としては、サンタ・チェチーリア管弦楽団、ザルツブルク・モーツァルテウム管弦楽団、ハレ歌劇場管弦楽団、マーラー室内管弦楽団など数多くのオーケストラと共演。ピアノやハープシコード、フォルテピアノとのデュオでも、世界中で活動を行っている。2005年よりノルウェー・スタヴァンゲル交響楽団のバロック音楽のための芸術監督となり、2015年には同交響楽団とアントニオ・カルダーラのオラトリオ「キリストの死と埋葬 Morte e Sepoltura di Christo」をレコーディングする大プロジェクトを行った。2011年よりサンタ・チェチーリア音楽院学芸員。2015年よりバレンシアのパラ・ド・ラ・アルテオーケストラの音楽監督を務める。オープニングシーズンにはヘンデルの《シッラ》と、モーツァルトの《イドメネオ》と《ダヴィデ・ペニテンテ》を上演。2015年、彼はフランス文化省から芸術と文学の国家学術員を指名された。
使用楽器は1686年クレモナ製のアンドレア・グァルネリ。また1766年製のカルロ・フェルディナンド・ガグリアーノも使用しており、この楽器はパレルモの彼の師匠が携わる、サルヴァトーレ・シチェーロ基金から貸与されている。

エウローパ・ガランテ［古楽アンサンブル］
Europa Galante

1990年、音楽監督であるファビオ・ビオンディによって設立された古楽アンサンブル。パルマのドゥーエ劇場を活動拠点とし、バロック期、古典派の作品を当時の楽器、もしくはそのコピー楽器で演奏する。バロック期の器楽曲に限らず、オペラ等の声楽作品も演奏している。ヴィヴァルディの協奏曲を収録した最初のCDで衝撃的なデビューを飾り、世界的に認められる。以後、ミラノ・スカラ座、サンタ・チェチーリア音楽院といったイタリア国内だけでなく、ヨーロッパ、オーストラリア、アジア、北米、南アフリカと世界各地の主要なコンサートホールや劇場で演奏、著名な音楽祭にも数多く出演している。ヴィヴァルディのオペラ《バヤゼット》、《デデルモドンテ川のエルコレ（ヘラクレス）》《メッセニアの神託》のほか、ヘンデルの《アグリッピーナ》、《イメネオ》といったバロック・オペラ、オラトリオ等声楽をふくむ作品もレパートリーとしている。さらにローマのサンタ・チェチーリア音楽院と共同で、アントニオ・カルダーラの《キリストの受難》、レオナルド・レーオの《カルヴァリオの丘の聖エレナ》のような前18世紀のイタリア・オペラの再発掘や復元に尽力している。Opus111レーベルでの数々のCDで注目され、その後はヴァージン・クラシックスにてヴィヴァルディの器楽曲、オペラをはじめ、イタリア・バロックの作品、バッハ等をリリース、それぞれが高い評価を得て、多くの賞に輝いている。グロッサ・レーベルからここ数年、リリースされたヴィヴァルディ“Farewell Concertos”、ベッリーニ《カプレーティとモンテッキ》、ヘンデル《イメネオ》、《シッラ》、ルクレールのヴァイオリン協奏曲、そして最新作ヴェルディ《マクベス》といずれも好評を博している。
www.europagalante.com/

［指揮&ヴァイオリン］	ファビオ・ビオンディ	Fabio Biondi
［1st.ヴァイオリン］	ファビオ・ラヴァシ	Fabio Ravasi
	エリン・ガブリエルッソン	Elin Gabrielsson
	バルバラ・アルトベッロ	Barbara Altobello
［2nd.ヴァイオリン］	アンドレア・ロニョーニ	Andrea Rognoni
	ルカ・ジャルディーニ	Luca Giardini
	ロッセッラ・ボルゾーニ	Rossella Borsoni
［ヴィオラ］	ステファノ・マルコッキ	Stefano Marcocchi
	エルネスト・ブラウヒャー	Ernest Braucher
［チェロ］	アレッサンドロ・アンドリアニ	Alessandoro Andriani
	ペリクリ・ピテ	Perikli Pite
［コントラバス］	パクシ・モンテロ	Patxi Montero
［ハープシコード］	パオラ・ポンセ	Paola Poncet
［テオルボ］	ジャンジャコモ・ピナルディ	Giangiacomo Pinardi

バロックザール
Barocksaal
京都 青山音楽記念館

お問い合わせ
☎075-393-0011
9:30〜18:00 月・火 休館

〒615-8282
京都府京都市西京区松尾大利町9-1
https://barocksaal.com

私たちは、音楽活動の普及と
発展のための支援事業と
音楽ホールの運営を行っています。

公益財団法人青山音楽財団

事業内容

- 主催公演事業
- 新人助成公演事業・助成公演事業
- 青山音楽賞［新人賞・青山賞・バロックザール賞］
- 育成支援事業［学校等支援事業・奨学金事業］
- 青山音楽記念館バロックザール　運営

www.aoyama-music-foundation.or.jp

30TH ANNIVERSARY
2020年、青山音楽財団は
設立30周年を迎えます